

## 藻岩山魅力アップ構想施設再整備基本計画(案)に対して寄せられた意見の概要及びこれに対する札幌市の考え方

### (1)計画(案)に関する意見の概要及びこれに対する札幌市の考え方

| 番号 | 該当項   | 該当ページ | 寄せられた意見の概要  | 札幌市の考え方   | 修正の内容 |
|----|-------|-------|---|---|-------|
| 1  | 2-2   | 3     | 札幌紹介機能は勝手な押し付けではないか。  | 市民・学識者を含めた懇談会の中でも、札幌の街を一望できるというロケーションで、市民・観光客の方を問わず札幌の文化・歴史・地勢などを発信していく機能の必要性についてご指摘いただいております。                                    |       |
| 2  | 2-2   | 4     | 交流機能について、家族・仲間と楽しめるようなイベント(宝探しなど)の開催などを企画して欲しい。   | ご意見を参考にさせていただき、さまざまな層の来場者の方々に楽しんでいただけるようなソフト面での運営を検討します。  |       |
| 3  | 2-2   | 4     | 交流機能に関して、市民・観光客は眺望が目的であり、交流機能は求めているのではないか。  | 大都市に隣接し、豊かな自然環境を有する藻岩山に足を運ぶお客様は様々な目的を持っていると考えられますので、幅広い層の方々に楽しんでいただけるような機能の付加について検討を進めます。   |       |
| 4  | 3-1   | 5     | 夏季は木製の大滑り台などがある子供広場などといった、自然を感じることができる体験ものを設置してはどうか。  | 滑り台等の遊具の設置については今後の検討課題とさせていただきますが、ソフト面において自然を感じてもらう体験プログラムの充実について検討を進めます。   |       |
| 5  | 3-4-1 | 8     | 電車からロープウェイ入口までのバリアフリー化のため、市立中央図書館や電車事業所からのシャトルバス運行(低床バス)を導入してはどうか。費用を考えるとエスカレーターなどの専用設備はやめるべきだと考える。                       | 市電電停からのバリアフリー対応については、シャトルバスの運行を含め、ご意見にもありますとおり費用の観点も踏まえて今後検討を進めます。エスカレーターについては、整備コスト、維持管理コスト、さらに利用ニーズの観点なども踏まえた場合に設置は難しいと判断しています。 |       |
| 6  | 3-4-1 | 8     | 山麓駅への市電・バスからのアプローチについて、弱者へのサービス、内外の観光客へのアピールなどの観点から、山麓通から高架上屋付のエスカレーター数基による乗継ぎ(必要に応じ、動く歩道を併用)でロープウェイ山麓駅に接続させる整備を検討してはどうか。 |   |       |

|    |       |    |  |   |  |
|----|-------|----|--|---|--|
| 7  | 3-4-1 | 10 | 地区として盛り上がり欠けるため水道記念館や博物館等の運動をしていくと良いのではないか。                                  | 藻岩山だけではなく、山麓地域全体として賑わいの創出を図ることは重要なことと考えます。山麓地域には水道記念館や中央図書館、埋蔵文化財センターなどの施設があり、相互の連携を図りながら地域全体の活性化を図っていきます。施設整備の面では、ロープウェイ山麓駅と水道記念館を結ぶ散策路の整備を進める計画です。  |  |
| 8  | 3-4-2 | 12 | ロープウェイ山頂駅と山頂展望台との間に大倉山のようなエスカレータを設置してはどうか。                                   | 現在、山頂駅と展望台の間のアクセスはシャトルバスの運行によって行われています。これに替わるものとしてエスカレータも検討の一つであると考えられます。しかしながら、藻岩山の施設再整備事業の大きなテーマとしては、環境配慮とバリアフリーを掲げており、エスカレータの設置により地表面が大きく変更されることや動植物の生息・生育環境が分断されること等の環境配慮面、車いすによる乗降や長距離の立っての移動になること等のバリアフリー面で課題が多かったことから、採用に至っておりません。 |  |
| 9  | 3-4-2 | 13 | 中腹駅周辺の植物の手入れがない。   | ご意見を参考にさせていただき、再整備後は中腹駅周辺の美化にも十分留意し、検討を進めます。  |  |
| 10 | 3-4-3 | 15 | 朝夕陽や星、月などの天体の眺望場所の設置   | 山頂展望台から中腹の駅舎周辺のエリアにおいて、眺望が可能になる場所の検討を進めるとともに、天体観測に関するソフト事業についても検討を進めます。   |  |
| 11 | 3-4-3 | 15 | 老朽化した施設の改修は必要であるとする。展望台については眺望のみならず、ゆっくりと休憩できるスペースが必要だと考える。                  | 屋上展望台については、現状のようなフラットな面ではなく工夫を凝らしたデザインにより眺望を楽しんだり休憩できる施設とすることを検討します。また、冬季も考慮し、屋内外から360度眺望を楽しめる施設として展望台の設計を行う計画です。   |  |
| 12 | 3-4-3 | 15 | 眺望と紹介機能に関して、展望施設のネーミングや施設PRに際しては「インカルシペ」のエピソードを使うなどといった歴史や文化を再認識させるような仕組みが必要 | 展望台施設、札幌紹介施設の設計や機能を検討する中で、ご意見の反映を図ります。  |  |
| 13 | 3-4-3 | 17 | 展望台から登山道(ハイキング的なもの)を新設して欲しい。   | 現在の登山道は急な斜面や階段が連続する部分もあり、誰もが楽しめるハイキング的なものではありません。そこで、今回の再整備計画では、藻岩山の豊かな自然を体感しつつ、藻岩山の動植物、森林資源などについての学習もでき、かつ傾斜もゆるやかにして子どもたちから高齢者の方々まで幅広い層のお客様が楽しめるような遊歩道の整備を検討する予定です。  |  |

|    |       |    |  |  |  |
|----|-------|----|--|--|--|
| 14 | 3-4-3 | 17 | 環境学習のため、動植物の観察や森林の中をゆっくり散歩できる遊歩道を設置して欲しい。また、樹木の案内の充実を図ってはどうか。  | 藻岩山の恵まれた資源を活用していくためにもこうした遊歩道の設置は必要であると考えます。具体的には、ロープウェイ山頂駅と山頂展望台の間に、藻岩山の自然に直接触れながら歩くことができ、樹木や動植物の学習もできるような案内板なども設置し、多くの皆様が利用できるようにユニバーサルデザインに配慮した遊歩道の整備を進める計画です。 |  |
| 15 | 3-4-3 | 17 | 登山道が狭く、行き交ったり学習・指導に不便である。子供からお年寄りの多くの市民が自然環境のなかで楽しく遊べる「アクセス道路」の整備をお願いしたい。  |  |  |
| 16 | 3-4-3 | 18 | 登山者交流施設の現状について、数名での独占、携帯ストーブを持ち込んでの調理、酒盛り、下着の着替えなど、一部にマナーの悪い登山客がいる。悪天候時に利用する登山客も少数なので設置の必要性を再検討してはどうか。                 | 市民・学識者を含めた懇談会の中で、年間10万人近い登山者の休憩施設・情報交換の場の必要性について、ご指摘いただいているところです。また、利用者のマナー向上については、今後、管理・運営手法のあり方を考えていく中で、課題として検討を進めます。  |  |
| 17 | 3-4-3 | 18 | 登山者に汚れた靴を洗ってもらうための設備は必須だと思う。   | ご意見を参考にさせていただき、施設整備の中での設置を検討します。   |  |
| 18 | 3-4-3 | 18 | 登山者休憩施設について、隔離されているようでは交流機能を考えたものとは思えない。また、登山者にもトイレを水浸しにしての洗顔、休憩所やストーブの独占、泥のついた登山靴のままフロアに入るなどといったものもあり、マナー改善が必要だと思われる。 | 登山者の皆様については、利用される時間帯や登山装備を置く場所や着替えの場所等が必要になるなど、求められる施設の機能面で配慮が必要であると考えています。利用者のマナー向上については、施設の運営・管理面で今後検討を進めます。   |  |
| 19 | 3-4-3 | 18 | 掲示のスペースや使用頻度、必要性などを考えると登山者の名札は不必要だと思う。   | ご意見を参考にさせていただき、登山者名札の必要性について検討を進めます。   |  |
| 20 | -     | -  | 委員会にはまたかという学識経験者もいる。新しいことは新しい人が考えたほうがよい。   | プロポーザル事業者選定委員会委員の人選については、各専門分野において豊富な知識、経験を持ち、さらに藻岩山の現状についても理解されていることが必要であるという観点から選考を行っているものです。  |  |
| 21 | -     | -  | 施設について、道庁赤レンガ、札幌市資料館などのような未来に残る建築物にする必要があり、北方建築等の技術やエコシステムを最大限に取り入れることで視察者を含めた集客増につながるのではないかと。                         | 藻岩山のランドマークに相応しく、一方で藻岩山の環境・景観に溶け込んだデザイン・機能を備えた施設となるよう検討を進めます。また、太陽光発電などのクリーンエネルギーの活用やエコシステムの導入についても検討を進めます。   |  |

|    |   |   |  |   |   |
|----|---|---|--|---|---|
| 22 | - | - | 集客について、登山客、国内外の富裕層、夫婦、家族連れなど幅広いターゲットに対し、満足してもらい再訪してもらえるような飲食メニュー、展望スペースなどの検討が必要。「藻岩ならではの」の視点も加えると良い。     | ご意見を参考にさせていただき、ハード・ソフト両面において幅広い来場者のニーズを考慮し、リピーターの獲得に向けた検討を進めます。   |   |
| 23 | - | - | 不況のなか、合人社のような道外の会社に優先交渉権者と決定したことが理解できない。   | プロポーザル方式による事業者選定については、提案いただいた内容について各分野の専門家からなる委員会において審査を行い決定したものです。企業の所在地にこだわることなく、よりよい施設を整備していくための設計、運営という観点から選定しています。   |   |
| 24 | - | - | 藻岩山での市民活動団体の紹介、展示、講演スペースを設置して欲しい。  | 実際に藻岩山をフィールドとして活動されているNPOや市民活動団体の皆さんのご意見を伺いながら、どのようなスペースが必要であるのか検討を行っていく予定です。   | 14ページ「3-4-3山頂エリア」に記載されている「環境学習の場として自然レクチャー施設を設置する。」を11ページ「3-4-2中腹エリア」への記載に変更する。 |
| 25 | - | - | 自然環境豊かな藻岩山は多くの市民が学習できる場とし、またNPO法人などの活動・展示スペースのため会議室などの設置をお願いしたい。   |   |   |
| 26 | - | - | 環境への配慮を十分に考えて欲しい。  | 本計画の基礎となっている「藻岩山魅力アップ構想」において、取組みの方針として「森林環境資源の持続的利活用と環境負荷の低減」、「誰もが藻岩山や札幌の価値を楽しみ学ぶ仕組み・空間の形成」を挙げております。自然環境への配慮及び「誰もが」藻岩山に訪れることができるためのユニバーサルデザインへの配慮はこの再整備計画の最も重要なテーマとして計画を進めます。 |   |
| 27 | - | - | 障害者に対しても優しい施設にして欲しい。   |   |   |
| 28 | - | - | 愛煙家のために灰皿のみの設置ではなく、専用の喫煙ルームの設置を希望する。   | 本施設は多くの市民・観光客が訪れることから公共性が高く、また、登山者などにおいては健康づくりといった側面があります。喫煙室の設置につきましては札幌市受動喫煙防止対策ガイドラインを考慮に入れ、禁煙・完全分煙を検討したいと考えています。  |   |
| 29 | - | - | たばこを吸う人、吸わない人が共存できる環境づくりのため、喫煙室の設置を提案する。   |   |   |
| 30 | - | - | 大都市札幌の中にある藻岩山の自然環境は大変貴重なものである。自然保護の観点からは山麓駐車場の拡張、ロープウェイの値段引き下げ、観光道路値段引き上げにより、CO2削減、環境保全へ貢献する方法を検討してはどうか。 | 貴重な自然環境の保全の観点から自動車利用を抑制することについては、知床や摩周湖など他の観光地においても広がりを見せています。藻岩山は自動車以外の交通手段としてロープウェイがあり、都心に隣接し、アクセス手段として市電、バスなどの方法が確保されています。ご意見については、今後リニューアル後の利用者傾向を踏まえ、慎重に検討を進めます。         |   |
| 31 | - | - | 藻岩山は札幌観光のメインとすべきだ。ロープウェイ施設はバリアフリーに十分考慮し、50年以上は続く施設を作るべきだと思う。   | 本計画では、藻岩山を市内の主要観光施設でもトップクラスの集客を図る施設を目指して整備を進めるとともに、環境の保全とバリアフリー対応を重視し、30年、50年先を見据えた施設づくりを進めます。  |   |

|    |   |   |  |  |  |
|----|---|---|--|--|--|
| 32 | - | - | 役人的発想ではなく、さまざまな意見を聴き、真に魅力アップに繋がる計画の実現を望む。                                    | 藻岩山の再整備については多くの市民の皆様に関心をもっており、これまでシンポジウム、市民フォーラムなどを実施してきました。今回のパブリックコメントにより確定する基本計画に基づき施設の設計に取りかかりますが、今後も環境配慮ガイドラインを通じた事業の進捗管理の面で各方面の方々からのご意見を伺い、より良い施設づくりに努めます。 |  |
| 33 | - | - | 夜景だけでなく、自然体験の散策路などが外国人からのニーズとしてある。インバウンド対策に「英語・中国語」の表示・パンフレットの整備を行う必要があると思う。 | 国内外の方を問わず、藻岩山を集客交流都市のシンボルとして位置づけているため、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた再整備の一環として、外国語表記にも十分配慮した施設づくり及びソフト事業の運営を進めます。  |  |

(2)その他計画(案)に関する以外の意見の概要及びこれに対する札幌市の考え方

|    |   |   |  |   |  |
|----|---|---|--|---|--|
| 34 | - | - | 札幌市も赤字バス存続への7億の補助があり、問題改善が必要。4億の市負担があれば動く歩道の設置やエレベーターの設置ができるはず。                        | 施設の整備は、単に予算の面からではなく、藻岩山の再整備のテーマとなっているバリアフリーと環境配慮への対応、さらに今後の長期的な社会経済環境の変化なども踏まえた上で検討を進めています。   |  |
| 35 | - | - | 雇用を確保してほしい。  | 本案と関係性が希薄のため回答は行いません。   |  |
| 36 | - | - | 登山道の利用について、山道の石を移動させる、滑り止め用の砂をまく、樹木の枝を折るなどの自然破壊が見られる。                                  | 登山道については今回の施設再整備の対象にはなっていませんが、藻岩山の魅力アップには欠かせない要素であり、環境保全の取り組みについては今後検討を進めます。  |  |
| 37 | - | - | 観光道路はロープウェイと共存の意味がないため廃止とし、維持費をロープウェイやインフラに使うべきである。                                    | 複数のアクセス方法を持つことで、より多くの利用客のニーズに対応することができるため、現段階では観光道路の廃止は考えておりませんが、今後、環境面などを踏まえ、そのあり方について検討を進めます。   |  |
| 38 | - | - | スキー場はスノーパーク化し外国人観光客が遊べるようにしてほしい。また、ロープウェイとのセット券などを販売し地元の人にも楽しめるようにしてほしい。               | スキー場は(株)りんゆう観光の経営ですが、国内外利用客のさまざまなニーズに対応できるよう、同じ藻岩山の施設として連携を図り藻岩山全体としての魅力アップを進めます。   |  |
| 39 | - | - | 交流機能に関して、国内外の観光客がスノーシュー体験など雪と触れ合える機会を提供してほしい。  | 藻岩山の自然と触れ合うプログラムの必要性は強く認識しており、昨年、一昨年と山頂付近でのスノーシュー体験プログラムを既に実施しています。今後はこうした自然体験プログラムをさらに拡充していく方向で検討を進めます。                                    |  |
| 40 | - | - | アスレチック、遊び道具のレンタルなどを設置し、身近な遊び場を演出することにより、日中の良さを知ってもらうことができるのではないかと。また、「市民農園」などを設置してほしい。 | ご意見を参考にさせていただき、夜景だけでなく一日を通じた藻岩山の魅力が感じられるような施設づくりを、ハード・ソフトの両面から検討していきます。「市民農園」については、天然記念物に指定されているエリアが広がっているなど、農園としての活用は現状においては難しいもののご理解願います。 |  |

|    |   |   |  |   |  |
|----|---|---|--|---|--|
| 41 | - | - | ソフト・おもてなしについて、施設管理者が札幌市民に対しておもてなしの意識が低いと感じられる。ロープウェイでの車中案内の内容、雪上車運転手の業務態度、飲食提供のサービス・内容、ゴミ箱の設置がないことなどに問題があると思う。 | ご意見を参考にさせていただき、ハード・ソフト両面において幅広い来場者のニーズを考慮し、満足度向上に向けた施設の再整備と運営について検討を進めます。 |  |
| 42 | - | - | 観光道路の両脇に、藻岩山に自生する植物を増やせないか。  | ご意見を参考にさせていただき、観光道路脇について、藻岩山に自生する植物を活用した美化についての検討を進めます。                   |  |